

第9期網走市介護保険事業計画の進捗状況について【令和6年度】

1. 高齢者数・要介護認定者数・認定率の推移

高齢者数・要介護認定者数については、下記の表のとおりです。

令和6年度の高齢者数は概ね計画値どおりであり、今後も緩やかに減少していく見込みです。

要介護認定者数についても概ね計画値どおりであり、認定率は北海道平均、全国平均を大きく下回っています。このことは、以前より介護予防事業等に取り組んできた成果と介護予防・日常生活支援総合事業が充実している結果と考察されます。

なお、より詳細な認定率の推移や近隣保険者との比較については別紙1のとおりとなっています。

高齢者数(第1号被保険者数)

区分	R03	R04	R05	R06	R07	R08
計 画	11,383 人	11,412 人	11,440 人	11,106 人	11,036 人	11,009 人
実 績	11,277 人	11,199 人	11,119 人	11,041 人		
比 率	99.1%	98.1%	97.2%	99.4%		

※ 実績は年度末の人数

要介護認定者数(第2号被保険者を含まない)

区分	R03	R04	R05	R06	R07	R08
計 画	1,896 人	1,943 人	1,991 人	1,895 人	1,936 人	1,974 人
実 績	1,839 人	1,870 人	1,874 人	1,909 人		
比 率	97.0%	96.2%	94.1%	100.7%		

※ 実績は年度末の人数

令和6年度 介護度別要介護認定者数(第2号被保険者を含まない)

区分	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
計 画	160 人	281 人	366 人	473 人	224 人	220 人	171 人	1,895 人
実 績	181 人	287 人	392 人	439 人	247 人	199 人	164 人	1,909 人
比 率	1133.1%	102.1%	107.1%	92.8%	110.3%	90.5%	95.9%	100.7%

※ 実績は年度末の人数

調整済認定率の推移(第2号被保険者を含まない)

区分	R03	R04	R05	R06	R07	R08
網走市	14.3%	14.3%	14.4%	未公表		
北海道	18.0%	17.7%	17.6%	未公表		
全 国	16.6%	16.3%	16.4%	未公表		

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より(年度末の数値)

また、日常生活圏域毎の概況及び特徴は下記のとおりです。

【日常生活圏域の概況】

(令和6年9月末日現在)

項 目	北圏域	中央・西 圏域	東・呼人 圏域	南圏域	市外 (※)	総 計
地 域 名	北 東・海 岸 町・北西・緑 町・字二ツ 岩・字明治・ 向陽ヶ丘	南東・港町・ 南西・錦町・ 台町・桂町・ 新町・大曲・ 字三眺・字天 都 山・字能 取・字平和・ 字卯原内・字 越歳・字嘉多 山・字二見ヶ 岡	駒 場 南 1 ～ 5 丁目・駒場 北 1 ～ 5 丁 目・潮見・字 呼 人・字八 坂・字東網 走・字中園	駒 場 南 6 ～ 8 丁目・駒場 北 6 丁目・つ くしヶ丘・鱒 浦・字豊郷・ 字藻琴・字昭 和・字山里・ 字稲富・字北 浜・字丸万・ 字実豊・字音 根内・字浦士 別・字栄・字 清浦		
面積（湖沼面積除）	43.98k m ²	163.21k m ²	48.6k m ²	133.64k m ²	—	389.43k m ²
人 口 （ ※ ）	5,317 人	8,206 人	11,169 人	7,627 人	—	32,319 人
第 1 号被保険者数	1,613 人	2,930 人	3,742 人	2,708 人	81 人	11,074 人
高 齢 化 率 （ ※ ）	30.3%	35.7%	33.5%	35.5%	—	34.3%
第 1 号被保険者 要介護認定者数	329 人	560 人	525 人	410 人	74 人	1,898 人
認 定 者 割 合 （ ※ ）	20.4%	19.1%	14.0%	15.1%	91.4%	17.1%
圏域別認定者構成比	17.2%	29.9%	27.6%	21.5%	3.8%	100.0%
グ ル ー プ ホ ー ム 整 備 数	1 箇所	2 箇所	5 箇所	2 箇所	—	10 箇所
小 規 模 特 養 整 備 数	1 箇所	2 箇所	0 箇所	0 箇所	—	3 箇所
小 規 模 多 機 能 整 備 数	1 箇所	0 箇所	1 箇所	0 箇所	—	2 箇所
地 域 密 着 型 特 定 施 設 整 備 数	0 箇所	0 箇所	0 箇所	1 箇所	—	1 箇所
地域密着型通所・ 認知デイ整備数	2 箇所	2 箇所	1 箇所	3 箇所	—	8 箇所

※ 「市外」は網走市外の住所地特例対象施設入所者数を記載。

※ 「人口」は住民基本台帳の実績値を記載。

※ 「高齢化率」は「第1号被保険者数」÷「人口」で算出。

※ 「認定者割合」＝「第1号被保険者要介護認定者数」÷「第1号被保険者数」で算出。

【日常生活圏域の特徴】

日常生活圏域	特 徴
北圏域	市街地、住宅地を中心とし構成されており、古くから栄えた地区と住宅地区が混在しており、4圏域の中で面積・人口・第1号被保険者数ともに一番小さい圏域です。高齢化率は、官公署の職員住宅が圏域内に整備されていること等が要因となり4圏域で一番低いですが、認定者割合は一番高い状況となっています。このことは、後期高齢者の方の割合が高いためと考察されます。
中央・西圏域	中心市街地と大曲地区を中心とした住宅地、広い農地・山間地に散在する西部地区の農村・漁村集落で構成され、国道238号線を幹線道路としています。この圏域の高齢化率は4圏域の中で最も高く、認定者割合も「北」圏域に次ぐ高さとなっています。このことは、高齢率が高い大曲地区が含まれること、郊外の農村・漁村集落が他圏域に比べ広く分布していることなどに起因していると考えられます。また、生活体制整備事業にいち早く取り組んでいる圏域で、令和4年度には小規模特別養護老人ホームの整備(増床)を行いました。
東・呼人圏域	潮見地区を中心とした住宅地と呼人地区を中心とした観光宿泊地で構成され、国道39号線及び道々中園網走停車場線を幹線道路としています。圏域内の人口・第1号被保険者数は、4圏域の中で最も多くなっています。これは、圏域の中に大規模な潮見地区の住宅地が含まれているためと考えられます。認定者割合は市内で一番低くなっており、このことは、前期高齢者の方の割合が高いためと考察されます。
南圏域	駒場・つくしヶ丘地区の商業地・住宅地と南部地区の農村・漁村集落で構成され、国道244号線及び市道つくしヶ丘本通線を幹線道路としています。圏域面積は「中央・西」圏域の次に大きい圏域となっています。認定者割合は市の平均より低くなっており、このことは、前期高齢者の方の割合が高いためと考察されます。

2. サービス利用状況

サービス利用状況については、下記の表のとおりです。長期入院などを含め認定者の一定数がサービスを利用していない現状があります。

認定者のサービス利用率（第2号被保険者を含まない）

区分	R03	R04	R05	R06	R07	R08
認定者	1,839 人	1,870 人	1,874 人	1,909 人		
利用者	1,524 人	1,533 人	1,528 人	1,542 人		
利用率	82.9%	82.0%	81.5%	80.8%		

※ 実績は年度末の人数

3. 受給率の推移

受給率とはサービスの受給者数を第1号被保険者で除した値を百分率で示したものです。市内に施設が少ないことから施設サービス受給率が北海道平均、全国平均と比べて低い状況でしたが、令和2年に特別養護老人ホームが増改築、介護医療院が新規開設されたことから、増加しています。一方、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)などが充実していることから、居住系サービスの受給率が高い状況です。

なお、より詳細な受給率の推移や近隣保険者との比較については別紙1のとおりとなっています。(厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」の数値は令和7年6月16日現在のもの)

【施設サービス】 特別養護老人ホーム・老健など

区分	R03	R04	R05	R06	R07	R08
網走市	2.5%	2.5%	2.6%	2.6%		
北海道	2.7%	2.7%	2.7%	2.7%		
全 国	2.8%	2.8%	2.9%	2.9%		

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より

【居住系サービス】 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)など

区分	R03	R04	R05	R06	R07	R08
網走市	2.9%	2.9%	2.9%	2.8%		
北海道	1.7%	1.7%	1.7%	1.8%		
全 国	1.3%	1.3%	1.4%	1.4%		

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より

【在宅サービス】 訪問介護(ヘルパー)、通所介護(デイサービス)など

区分	R03	R04	R05	R06	R07	R08
網走市	8.2%	8.5%	8.6%	8.8%		
北海道	9.6%	9.7%	9.9%	10.1%		
全 国	10.2%	10.3%	10.5%	10.8%		

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より

4. 受給者1人あたり介護給付費の推移

市内に認知症対応型共同生活介護(グループホーム)や特定施設等が充実していることから、在宅及び居住系サービス受給者1人あたりの介護給付費が北海道平均と比べ高い状況です。

なお、より詳細な給付費の推移や近隣保険者との比較については別紙1のとおりとなっています。(厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」の数値は令和7年6月16日現在のもの)

【在宅及び居住系サービス】(月あたり)

区分	R03	R04	R05	R06	R07	R08
網走市	133,419 円	128,865 円	127,983 円	128,028 円		
北海道	121,378 円	121,450 円	123,911 円	125,961 円		
全 国	130,299 円	130,076 円	132,661 円	135,061 円		

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より

【在宅サービス】(月あたり)

区分	R03	R04	R05	R06	R07	R08
網走市	103,056 円	97,545 円	94,852 円	95,482 円		
北海道	104,379 円	104,406 円	106,980 円	109,056 円		
全 国	119,152 円	118,723 円	121,225 円	123,317 円		

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」より

5. 居宅介護サービスの利用状況

計画に対する居宅介護サービス毎の実績は下記のとおりです。訪問系サービスが計画を下回っていますが、その他のサービスについては概ね計画どおりに推移しています。
※実績は年度平均

(1) 居宅介護支援・介護予防支援

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	240	245	248
実 績	236		
比 率	98.3%		

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	706	730	744
実 績	704		
比 率	99.7%		

(2) 訪問介護

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	5,145	5,330	5,581
実 績	4,417		
比 率	85.9%		

(3) 訪問入浴介護

介護予防サービスの利用状況（回／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	1	1	1
実 績	0		
比 率	0.0%		

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	50	50	54
実 績	113		
比 率	226.0%		

(4) 訪問看護

介護予防サービスの利用状況（回／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	163	168	168
実 績	146		
比 率	89.6%		

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	1,004	1,033	1,056
実 績	914		
比 率	91.0%		

(5) 訪問リハビリテーション

介護予防サービスの利用状況（回／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	490	499	499
実 績	508		
比 率	103.7%		

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	1,107	1,167	1,197
実 績	1,043		
比 率	94.2%		

(6) 居宅療養管理指導

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	17	17	19
実 績	14		
比 率	82.4%		

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	238	247	257
実 績	264		
比 率	110.9%		

(7) 通所介護（デイサービス）

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	1,289	1,330	1,350
実 績	1,521		
比 率	118.0%		

(8) 通所リハビリテーション（デイケア）

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	56	58	59
実 績	36		
比 率	64.3%		

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	865	890	909
実 績	637		
比 率	73.6%		

※介護予防サービスは、月単位の定額報酬のため、人数で記載

(9) 福祉用具貸与

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	161	165	167
実 績	171		
比 率	106.2%		

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	387	402	413
実 績	438		
比 率	113.2%		

(10) 特定福祉用具販売

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	6	6	6
実 績	6		
比 率	100.0%		

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	11	11	11
実 績	10		
比 率	90.9%		

(11) 住宅改修費の支給

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	5	5	5
実 績	6		
比 率	120.0%		

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	8	9	9
実 績	7		
比 率	87.5%		

(12) 短期入所生活介護・短期入所療養介護（ショートステイ）

短期入所生活介護(予防)の利用状況(日/月)

区分	R06	R07	R08
計 画	10	10	10
実 績	13		
比 率	130.0%		

短期入所生活介護(介護)の利用状況(日/月)

区分	R06	R07	R08
計 画	428	456	456
実 績	460		
比 率	107.5%		

短期入所療養介護(老健・予防)の利用状況(日/月)

区分	R06	R07	R08
計 画	14	14	14
実 績	8		
比 率	57.1%		

短期入所療養介護(老健・介護)の利用状況(日/月)

区分	R06	R07	R08
計 画	448	460	496
実 績	328		
比 率	73.2%		

短期入所療養介護(病院等・予防)の利用状況(日/月)

区分	R06	R07	R08
計 画	0	0	0
実 績	0		
比 率	0.0%		

短期入所療養介護(病院等・介護)の利用状況(日/月)

区分	R06	R07	R08
計 画	0	0	0
実 績	0		
比 率	0.0%		

(13) 特定施設入居者生活介護（介護専用型・混合型）

介護予防サービスの利用状況(人/月)

区分	R06	R07	R08
計 画	15	15	15
実 績	16		
比 率	106.7%		

介護サービスの利用状況(人/月)

区分	R06	R07	R08
計 画	128	130	134
実 績	112		
比 率	94.9%		

6. 地域密着型サービスの充実

計画に対する地域密着型サービス毎の実績は下記のとおりです。通所系サービスは新規事業所の本格的な稼働が見込みより遅くなったことなどから計画を下回っていますが、他のサービスについては概ね計画どおり利用されています。 ※実績は年度平均

(1) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

介護サービスの利用状況(人/月)

区分	R06	R07	R08
計 画	3	3	3
実 績	4		
比 率	133.3%		

(2) 夜間対応型訪問介護

第9期計画策定時において、市内に事業参入する事業者がないため、サービス量を見込んでおらず、市外の住所地特例施設入居者を含め利用実績もありませんでした。

(3) 地域密着型通所介護

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	852	897	906
実 績	725		
比 率	85.1%		

(4) 認知症対応型通所介護

介護予防サービスの利用状況（回／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	9	9	9
実 績	2		
比 率	22.2%		

介護サービスの利用状況（回／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	465	465	473
実 績	441		
比 率	94.8%		

(5) 小規模多機能型居宅介護

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	4	4	4
実 績	5		
比 率	125.0%		

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	28	29	30
実 績	25		
比 率	89.3%		

(6) 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

介護予防サービスの利用状況（人／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	0	0	0
実 績	0		
比 率	0.0%		

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	171	171	180
実 績	164		
比 率	95.9%		

(7) 地域密着型特定施設入居者生活介護

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	20	20	20
実 績	20		
比 率	100.0%		

(8) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（小規模特養）

介護サービスの利用状況（人／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	67	67	67
実 績	63		
比 率	94.0%		

(9) 看護小規模多機能型居宅介護（旧複合型サービス）

第9期計画策定時において、市内に事業参入を検討している事業者がなかったため、サービス量を見込んでおらず、市外の住所地特例施設入居者を含め利用実績もありませんでした。

7. 施設サービスの充実

計画に対する施設サービス毎の実績は下記のとおりです。介護医療院の増床予定が延期になっており、計画値を下回っています。 ※実績は年度平均

(1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

施設サービスの利用状況（人／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	81	81	81
実 績	85		
比 率	104.9%		

※上記には、市外施設利用分も含む

(2) 介護老人保健施設（老人保健施設）

施設サービスの利用状況（人／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	123	123	123
実 績	121		
比 率	98.4%		

※上記には、市外施設利用分も含む

(3) 介護医療院

施設サービスの利用状況（人／月）

区分	R06	R07	R08
計 画	29	29	29
実 績	18		
比 率	62.1%		

※上記には、市外施設利用分も含む

8. きめ細やかな介護保険制度運営の推進

(1) 市町村特別給付の推進（ロードヒーティング施工費・いす式階段昇降機施工費）

ロードヒーティング施工費支給件数（人／年）

区分	R06	R07	R08
計 画	1	1	1
実 績	0		
比 率	0.0%		

ロードヒーティング施工費支給金額（千円／年）

区分	R06	R07	R08
計 画	270	270	270
実 績	0		
比 率	0.0%		

いす式階段昇降機施工費支給件数(人／年)

区分	R06	R07	R08
計 画	1	1	1
実 績	1		
比 率	100.0%		

いす式階段昇降機施工費支給金額(千円／年)

区分	R06	R07	R08
計 画	270	270	270
実 績	270		
比 率	100.0%		

(2) 低所得者対策の推進

介護保険では、サービス利用者は費用の1割～3割の自己負担が基本（介護サービス計画作成費を除く）となりますが、低所得者への配慮から、次のような負担軽減措置を講じました。

- 施設サービス・短期入所サービスを利用した場合の食費・居住費の減額【補足給付】
- 所得に応じた高額介護サービス費、高額医療・高額介護合算療養制度による負担上限額の設定
- 社会福祉法人等により生計困難者に対する利用者負担軽減がなされた場合の法人助成【社会福祉法人軽減】

このうち、社会福祉法人軽減については、国が平成17年10月から軽減率の引き下げ（利用者負担を5%から7.5%へ引き上げ）や施設入所者の居住費・食費を軽減対象とするなどの見直しを実施しましたが、当市では【独自軽減制度】として、国を上回る軽減率5%を維持し、施設入所者の居住費・食費の軽減については実施していませんでした。

令和7年8月に国制度へ完全移行することとし、移行にあたってはより丁寧な制度周知等に努めていきます。

(3) 介護認定審査会の共同設置及び審査会委員の資質向上、公平性・公正性の確保

要介護者の審査判定業務を行うため、市町村に介護認定審査会を設置することとなっています。

当市では、審査会委員の確保や、広域的に公平な審査判定が確保されること、事務の効率化・経費削減が図られること等の観点から、この審査会を近隣の斜里町・清里町・小清水町の1市3町共同で設置しています。

3町と十分に連携を図り、令和6年10月には事務等担当者会議を開催するなどして審査会の円滑な実施に努めてきました。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、令和3年12月より介護認定審査会のオンライン開催を実施するとともに、令和4年12月からは審査会資料のペーパーレス化に取り組んできました。

また、北海道オホーツク総合振興局保健環境部保健行政室などと連携し、審査会委員新規研修及び現任研修を実施し、資質向上に努めました。

(4) 情報公表の実施促進

利用者が適切かつ円滑に介護サービスを選択することが可能となるよう、北海道への情報提供を行うとともに、介護サービス事業者に対する運営指導等を通じて、情報公表を行うよう指導に努めました。

また、被保険者に対しては「介護保険いきいきガイドブック」やホームページ等の

活用により事業者情報の周知を行いました。

(5) 事業所への適切な指定・指導等の実施

事業者に対する運営指導の中で、基準の遵守、サービス内容の評価・点検等を行ってきました。また、令和6年11月には地域密着型サービス事業所・居宅介護支援事業所を対象とした集団指導をweb併用で開催しました。

(6) ケアマネジメントに関する基本方針の周知

介護保険制度の根幹であるケアマネジメントのあり方を保険者と介護支援専門員で共有することを目的とし、「網走市ケアマネジメントに関する基本方針」を策定し運営指導等を通じて事業者にも周知しています。

(7) 介護給付の適正化の推進

適正な給付を目指し、長期的に安定した介護保険財政の運営につなげるため、費用の適正化のための検証等に努めてきました。目標項目に対する実施状況は下記のとおりです。

項目	実施方法	実施目標	実施状況
要介護認定の適正化	○一次判定から二次判定の軽重度変更率の差や、認定審査会の合議体間の差異について分析を行い、差異を縮小させるための取り組み(研修会の開催等)を実施	・年1回以上の研修会を開催	・新任研修及び現任研修を開催。
	○要介護認定・要支援認定新規申請及び区分変更申請に係る調査については保険者直営により実施 ○更新申請を含む調査票の点検を実施	・全件実施	・全件実施
	○抽出によるケアプラン点検を実施	・各居宅支援事業所年1件以上	・34件実施 (居宅支援事業所2事業所・その他の事業所1事業所)
ケアプランの点検及び住宅改修等の点検	○【住宅改修】施工前の工事見積書、竣工写真等により、住宅改修の施工状況等を点検。また、改修費が高額であるもの等を抽出し施工前及び施工後の現地点検等を実施	・全件実施	・全件実施 (高額改修等に対する現地点検1件実施)
	○【福祉用具購入調査】福祉用具購入に関し金額等を点検	・全件実施	・全件実施
医療情報との突合・縦覧点検	国保連への委託等により実施	・全件実施	・全件実施

9. 災害や感染症対策に係る体制整備

近年、大規模な自然災害の発生や新型コロナウイルス感染症の流行等、これまではなかった備えが必要となってきました。市としての福祉避難所の指定及び災害時の備蓄品確保を行うとともに、感染症予防の徹底に向けた資料の周知等を行ってきました。全サービス事業所による大規模災害等に対応した災害計画の作成から、感染症や災害への対応力向上につながるよう、必要な情報提供や助言等を行っていきます。

10. 介護人材確保の推進

介護サービスを維持・整備していくためには、量だけでなく質の高い介護人材を継続的・安定的に確保することが必要不可欠です。令和6年度は下記の事業に取り組みました。

●介護初任者研修受講に対する助成	2人
●介護事業所への復職に対する助成	4人
●介護職員スキルアップ研修	40人
●高校生対象合同企業説明会への参加	23人

11. 重度化防止の取組に関する目標

(1) 重度化防止に向けた総体的な数値目標

第9期計画においては「地域支援事業の実施による要介護状態になることの予防」や「生活機能向上のためのリハビリテーション」など個々の施策・事業を通じて高齢者の自立支援や重度化防止に取り組むこととしましたが、総体的な指標として「第1号被保険者における要介護3以上の割合」を重度化防止の数値目標として掲げました。「地域包括ケア『見える化』システム」による最新実績である令和7年3月末の数値については下記のとおりです。

	現 状 (R05末)	目 標 (R08末)	実 績 (R06末)	差 異
調整済み重度認定率	4.8%	4.7%以下	4.8%	0.1

※ 厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」調整済み重度認定率より記載

※ 「調整済み認定率」～認定率の多寡に大きな影響を及ぼす「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率

※ 「重度認定率」～要介護3以上の認定者の人数を第1号被保険者の人数で除した値

(2) 具体的な取り組み目標

介護予防、重度化防止に係る具体的な取り組み目標・実績は下記のとおりです。目標を達成できていない項目もありますが、第9期計画期間においても介護予防を中心とした各種施策の継続・充実を図っていきます。

①フレイル・要支援状態の高齢者に対する適切な生活期リハビリテーションサービス提供体制の構築

ア. 初回アセスメント時におけるリハビリ専門職派遣回数の増加

計画策定時 (R05末見込)	R05末実績	目標 (R08末)	実績 (R06末)
10 回	10 回	36 回	7 回

②地域における通いの場の充実

ア. 高齢者ふれあいの家・各種トレーニング教室への参加者の増加

計画策定時 (R05末見込)	R05末実績	目標 (R08末)	実績 (R06末)
1,280 人	1,268 人	1,555 人	1,220 人

イ. 心身の健康度が維持または向上したと感じる参加者割合

計画策定時 (R05末見込)	R05末実績	目標 (R08末)	実績 (R06末)
87%	84.1%	87%	80.2%

※実績についてははらくらく健康トレーニングアンケートによる